野沢温泉村幼保小中一貫教育・高校連携教育　　令和６年２月２６日（通算２０３号）

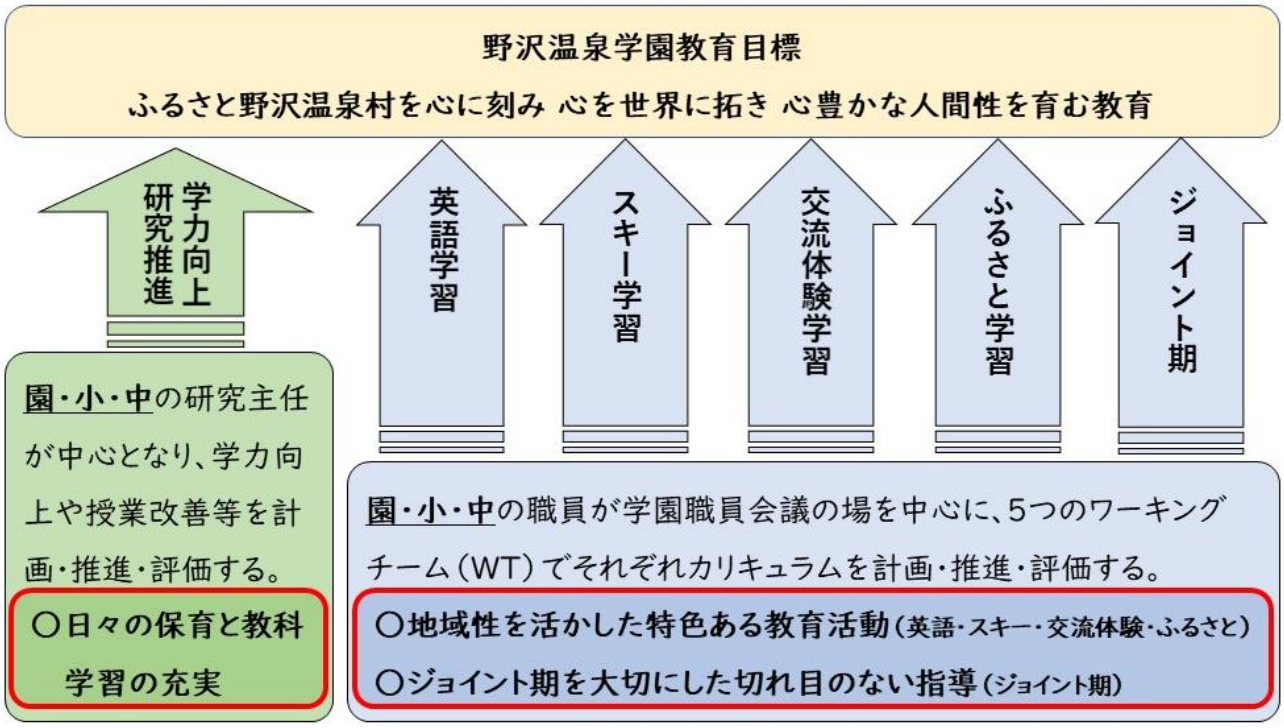
山毛欅（ぶな）の子　野沢温泉学園だより第10号

～子どもたちが、ブナ（村木）の若葉のごとく、力強くたくましく伸びてほしいとの願いを込め～

令和6年度の学園づくりに向けて

幼保小中一貫教育・高校連携教育を掲げている本学園では、学園発足以来、以下のように「学力向上・研究推進部会」と「5つのワーキングチーム（WT）」で組織運営し、計画・推進・評価をしております。

2月22日には、第4回学園職員会議・WT　会議を開催し、本年度の取組を振り返るとともに来年度の方向について意見交換しました。



○学力向上・研究推進部会

日々の保育と教科学習の充実を図るために年2回の学園授業研究会（6/20、11/15）の共同参観を大切に考えました。研究会事前に教師が児童生徒役になって行う「対話型模擬授業検討会」も定着してきており、より子どもの視点を意識したものになってきています。来年度は、当日の自由参観においても互いに授業を見合うなど、共有する機会をさらに増やして、子どもたちだけでなく教師も「学びをつなげて」参ります。

「模擬授業」で学びをつなぐ学園職員

○英語学習

今年度相手意識をもった英語活動の効果が認められたので、来年度も学園のつながりを活かして取り組んでいきます。

英語の合同授業（小6・中1）

ハロウィン交流会（年中・小4）

○スキー学習

中学2年生がスキー博物館の生徒学芸員として小学生を招いて館内のガイドを務めました。このような取組を一過性で終わらせるのでなく、継続していく工夫を考えていきます。

スキー博物館ガイド（小3・中2）

クリスマスカード交換（年中・小3）

○交流体験学習

多様な活動ができた反面、活動が細切れになりがちでした。継続して年に3，4回できれば顔見知りになれるので、交流の深まりを目指していきます。また、英語科では読み聞かせなど活発にできているので他教科に広げていきます。

○ふるさと学習

中学校では、3年生がどのプロジェクトも形になり、子どもたちの達成感も大きく、たくさんの人に支えられていることを実感するとともに、自分たちの活動で村に貢献できたという思いを持つことができました。小学校でさまざまに学習してきたことをベースに、もしくは小学校で行ってきたことをさらに深めて中学校での学習につなげていけるように取り組んでいきます。

フォトスポット用フレーム製作（中3）

○ジョイント期

ドッジボール交流を早い段階で行うなど、新たな工夫を取り入れて実施できました。2つのジョイントとも翌年度の日常を体験できていてとてもよいので、職員同士の打ち合わせを密にして内容の充実を図っていきます。

ドッジボール交流（年長・小1）

令和6年度も、「めざす子どもの姿の具現化」を目指して、自身の授業・保育や仲間の授業・保育からの気づきを職員間で大いに共有し、めざす子どもの姿を育むために私たち学園職員はどのように取り組むべきか考えていきたいと思います。

文責：中学校　藤井善章